

民生委員・児童委員の担い手確保 に向けた取り組みについて

三田市 地域福祉課

Contents

1 民生委員・児童委員とは？

2 初めに取り組んだこと

3 なぜ担い手が不足している？

4 本当に必要な取り組みは？

5 サービスデザインの視点

1 民生委員・児童委員とは？

民生委員・児童委員は・・・

同じ地域で暮らす住民の一人として

困りごとを抱えた人の話に耳を傾け

必要な支援やサービスへつなぐ

ボランティア（特別職の地方公務員）

見守り
寄り添い・つなぎ
地域活動への協力

1 民生委員・児童委員とは？

● 民生委員・児童委員の役割

■ 寄り添い・つなぎ

生活の中で抱える困りごとを受け止め、
必要な支援やサービスへつなぐ

〈例えば・・・〉

妊娠中の心配ごとや子育ての不安、
障がいや介護に関する困りごとなど

➡ 困りごとの“解決”ではなく“つなぎ”

1 民生委員・児童委員とは？

● 民生委員・児童委員の役割

■ 見守り

生活支援が必要な人の自宅へ訪問したり
子どもの登下校時の見守りを行ったり など

〈例えばこんな見守りも・・・〉

地域イベントへ参加 → 「〇〇さん元気ない・・・」

自宅までの帰り道 → 「雨戸が何日も閉まっている」

➡ 見守り = 生活の中で誰かを気にかけること

1 民生委員・児童委員とは？

● 民生委員・児童委員の役割

■ 地域活動への協力

地域における居場所づくりへの協力
ふれあいやつながりの場づくり

〈例えば・・・〉

高齢者・子育てサロン、多世代交流イベント
地域（子ども）食堂、登下校時の見守りなど

➡ 人と人がつながる “地域づくり”



1 民生委員・児童委員とは？

民生委員・児童委員

地域コミュニティが希薄化する中で
地域を温かく見守る欠かせない存在

でも、担い手が不足している。。

どうすれば次の担い手育成につながる？

担い手不足の背景にある課題は？

初めに考えたこと

タブレットの配布

- 各地区代表→市内全委員へ拡大
- 連絡・調整の円滑化
- データでの資料共有
- 各種申請のオンライン化

DX部門へ
相談↓連携

タブレット配布の課題

- **デジタル機器の活用に係る負担**
→ デジタルへの抵抗が大きく活用を期待できない
- **コストがかかる（継続できない。。）**
- **個人情報の管理**
→ オンラインで個人情報を扱えない

より効果的な取り組みは？

次に考えたこと

- 広報素材の作成
→ 次の担い手世代に向けて
PR動画・チラシの作成
- SNSを活用した情報発信
→ 認知度が低い若・中年層に
適した情報発信の強化

↓ SNS活用広報
アドバイザーへ相談

担い手確保に向けて・・・

- **担い手不足の背景を整理**
→なぜ担い手が不足している？
- **広報活動以外の取り組み**
→円滑な委員活動への支援
- **民生委員・児童委員との意見交換**
→実際に感じている負担感・課題

3 なぜ担い手が不足している？

● 担い手不足の背景

■ 認知度の低さ

若・中年層との関わりが少ない&情報が届いていない

■ 委員活動の負担増加

見守り対象者の増加&活動範囲の拡大

■ 地域コミュニティの希薄化

区・自治会の解散により候補者選出が難航

■ 担い手世代の就労増加

女性の社会進出・定年退職の年齢引き上げ

3 なぜ担い手が不足している？

認知度の低さ

委員活動の負担増加

推薦母体の欠如

担い手世代の就労増加

課題

改善

情報発信の強化

負担感の軽減

推薦制度の再構築

4 本当に必要な取り組みは？

● 情報発信の強化

■ PR動画（短編・長編）

[短編] 幅広い年齢層への認知度向上を目的
民生委員がつなぐ“笑顔”をテーマ

[長編] 次の候補者と候補者選出団体向け
活動内容や役割、やりがい・魅力を伝える

■ 啓発チラシ（A4・A5版）

■ 民生委員・児童委員ガイドブック

4 本当に必要な取り組みは？

● 情報発信の強化

■ 民生委員が取り組む広報活動

- ・ 広報部代表者会を設立（R6～）
- ・ SNS（Instagram）の運営
R6：運営体制の確立&マニュアルの作成
→R7投稿開始（月2回程度）

■ 市HPの充実・強化

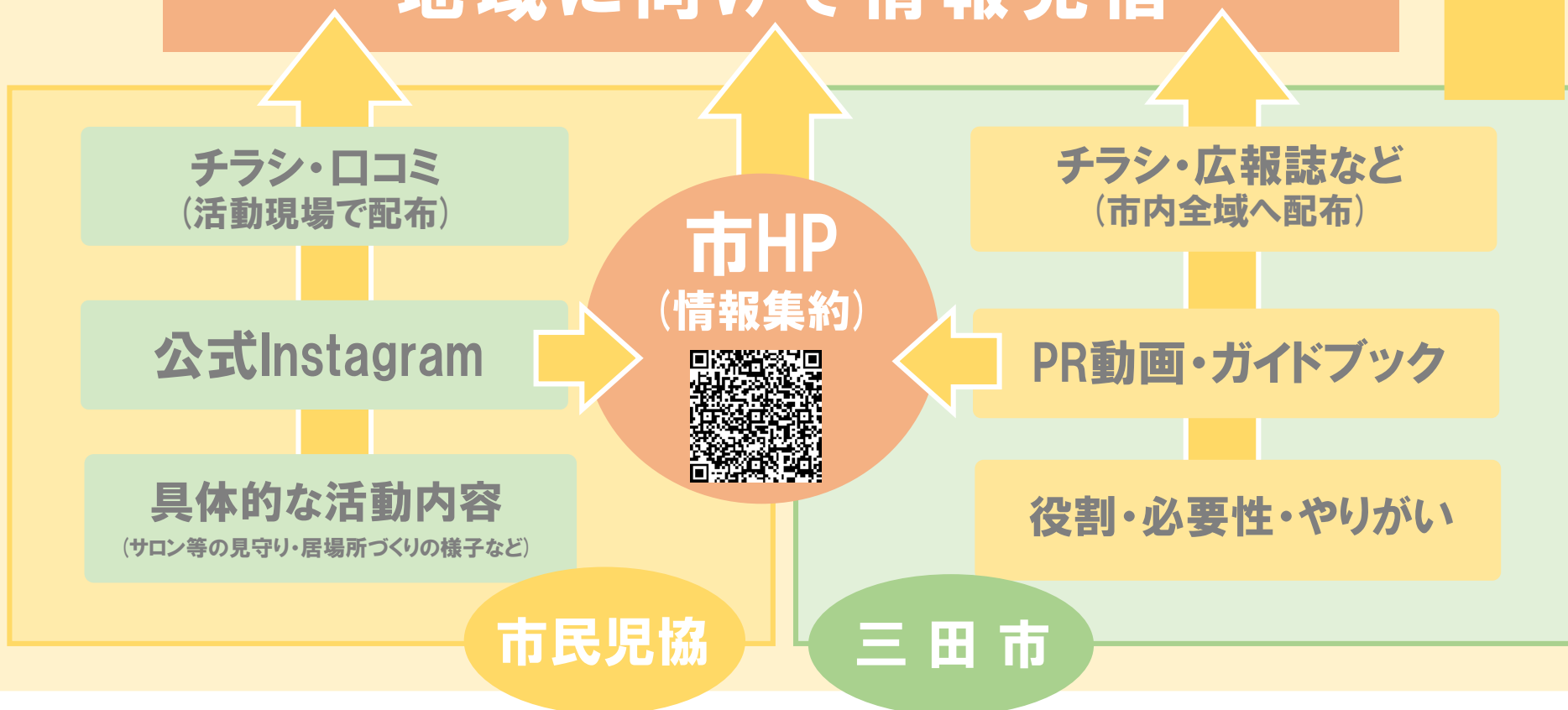
情報発信の基盤

- ・ 委員制度の概要や活動内容、やりがい・魅力や各広報素材（PR動画等）の二次元コードを掲載

4 本当に必要な取り組みは？

● 情報発信の強化

地域に向けて情報発信



4

本当に必要な取り組みは？

● 委員活動の負担軽減

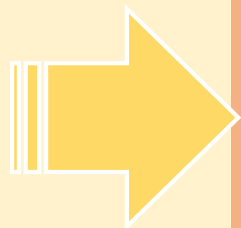
■ 委員活動の整理

委員活動の中で負担軽減を図れる活動は？

■ 事務的手続きのデジタル化

活動記録の作成・報告にデジタルを活用？

適したツールがないため新たにアプリを作成？



サービスデザイン研修の受講

「民生委員・児童委員」目線での取り組み？

4 本当に必要な取り組みは？

サービスデザイン研修

担い手確保事業の最終目的は？

デジタル化が寄与する可能性は？

民生委員が実際に抱えている課題は？

デジタル化だけで考えず

全体の流れを意識

POINT

4

本当に必要な取り組みは？

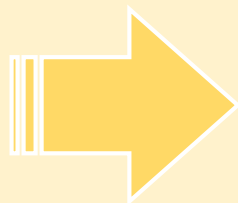
● 委員活動の負担軽減

■ 現状把握「負担感・不安感」

民生委員（5名）へのヒアリング

→ 欠員が多い地区の委員を対象

全委員を対象としたアンケート調査



負担

地域活動への協力

課題

地域活動者の減少

4 本当に必要な取り組みは？

地域活動への協力

民生委員としての協力を制限？

でも、活動者がいない状態では
地域活動が衰退してしまう。。

地域活動の支援者を増やす

=地域全体で居場所づくりを担う

テーマ設定

4 本当に必要な取り組みは？

● 委員活動の負担軽減

■ 地域活動の支援者を増やす

わずかな関心をもつ地域住民と担い手が不足している地域活動とのマッチング
→情報発信の一元化、自由な参加形態

POINT 地域活動＝住民の“主体性”に基づく活動

■ その他の取り組み

新任委員へのサポート体制強化

→相談しやすい環境づくり・つなぎ先の把握

4 本当に必要な取り組みは？

● 推薦制度の再構築

■ 推薦母体の追加

区・自治会からの候補者選出が困難な場合、
市民見協役員（地区代表）が推薦調書を作成

■ 候補者選出への協力依頼

市内福祉事業所等へ候補者となり得る人材の
情報提供を依頼（チラシ・ガイドブックの活用）



5

サービスデザインの視点

START

担い手確保に向けた
取り組みが必要！

タブレットを配布？

DX部門との連携
アドバイザーへの相談

現状の課題を整理
↓3つの視点が必要

広報素材の作成
推薦制度の再構築

委員活動の負担軽減
↓デジタルの活用？

民生委員の課題
|| 地域活動の課題？

民生委員アンケート
(市全体としての傾向)

民生委員ヒアリング
(何が負担に感じる?)

サービスデザイン研修

活動記録のデジタル化？
アプリ開発の検討？

GOAL

5

サービスデザインの視点

サービスデザインの視点

最終目的 ≠ デジタル化

= 民生委員・児童委員による
見守り・相談支援の継続

最終的に目指す姿 (誰の何を解決?)
を軸とした取り組みの展開が必要

Fin